患者さんへ
「術前 CT 支援画像 1 相撮影法の有用性」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023 年 12 月 1 日より 2024 年 8 月 31 日の期間に湘南鎌倉総合病院で上腸間膜動静脈・下腸間膜動静脈・腎動静脈描出を目的に血管造影 CT（Computed Tomography: コンピュータ断層撮影）を受けられた方
2 研究目的・方法	体幹部血管造影 CT は手術の支援画像として使用されています。 良好な支援画像を作成するために、従来は動脈相・門脈相・静脈相と別々に撮影し 3D 画像の作成をしていました。しかし、各相で呼吸量が大きく違うと位置合わせにミスが生じ、実際の解剖位置と違う画像が出来てしまう事があります。 この対策として、現在、当院では主に、1 回の撮影で動脈・門脈・静脈を描出させる一相分離撮影という手法を用いて撮影を行っています。この手法では、造影剤を時間をずらして注入し、撮影対象となる全ての血管が同時に染まっている時間に 1 回の撮影を行います。この方法では、各相にあわせて撮影しなくて良いことから、呼吸による各相の位置ズレを起こさずに撮影が可能です。また、造影効果に違いを持って必要な血管の抽出ができます。さらに、1 回の撮影で済むため被ばく線量の低減も期待できます。この 1 相分離撮影による造影効果について、被ばく線量の低減を含め、有用性を明らかにすることが、当研究の目的です。 研究の期間：施設院長許可（2024 年 2 月予定）後～2024 年 11 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	身長・体重・年齢・性別、画像から得られる CT 値、被ばく線量　等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 清水　利光　湘南鎌倉総合病院　放射線科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1　電話番号：0467-46-1717

2023 年 12 月 26 日作成（第 1.0 版）